KAWASAKI STEEL GIHO Vol.12 (1980) No.1

Fatigue Properties of Heavy Section Steels for Nuclear Pressure Vessel

· (Ku	nihiko Kobayashi)	· (A	sao Narumo	to) ·	(Shibeto
Matsumoto) ·	· (Michihiro 7	Гanaka)			
:	SA533B CI.1	SA508	CI.3		
		163mm	250mm		200mm
400mm				ASME	
		,			
ASME		Sec	Sec		

Synopsis:

Low cycle fatigue tests at room and elevated temperatures and fatigue crack propagation test at room temperature were performed on 163mm and 250mm thick plates of SA533B Cl.1 steel and also on 200mm and 400mm thick forgings of SA508CI.3 steel both for nuclear pressure vessels. Very uniform distribution of fatigue properties within the heavy section steels was confirmed and the data were well comparable to those given in ASME Boiler and Pressure Vessel Code Sec. and Sec. . The paper also discusses the temperature dependence of low cycle fatigue strength and the behavior of fatigue crack propagation from surface notch.

(c)JFE Steel Corporation, 2003

UDC 621.772:621.039.53 669.14.018.292 620.178.32.

原子炉圧力容器用鋼材の疲労特性

Fatigue Properties of Heavy Section Steels for Nuclear Pressure Vessel

小 林 邦 Kunihiko Kobayashi 成本

Asao Narumoto

本 重

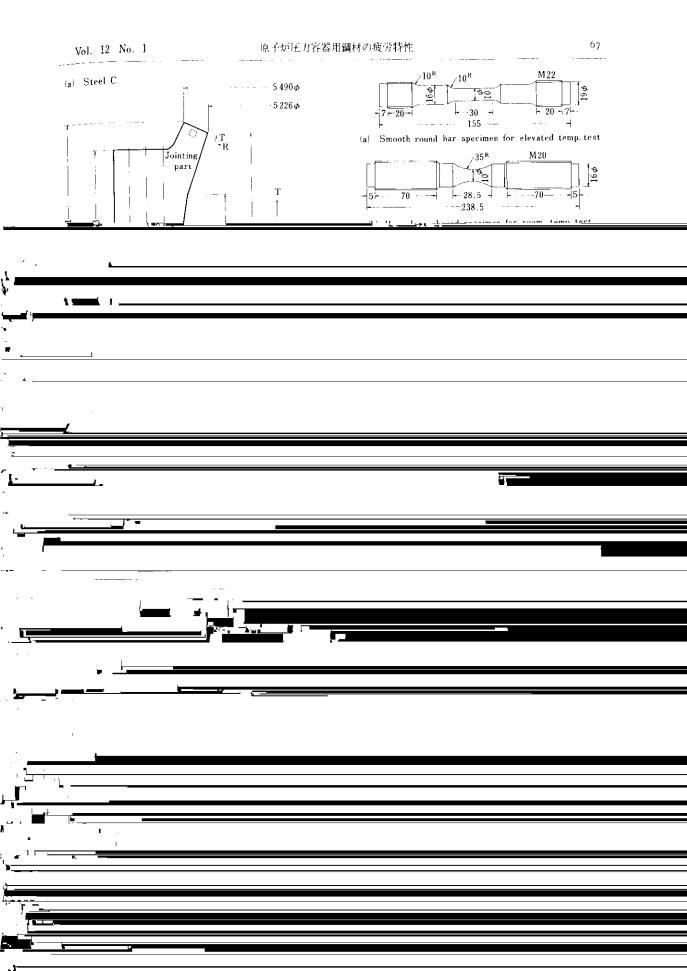
浩* 田 中 康

Shigeto Matsumoto

Michihiro Tanaka

	Synopsis:
	Low cycle fatigue tests at room and elevated temperatures and fatigue crack propagation test at room
	*\$TIT
	SALE
Ť	
· ·	
Į į	
<u> </u>	
1/_1	
-	
	-
1	K **=
t.	1,0071
	<u> </u>
ਤ ਨੁਸ਼ਾ ਕਿ ਵਿੱਚ	
<u>())</u> W-)_2	
_	
.1	
'	

	SA533B Cl. 1 鋼(JIS SQV 2 A 相当) および、 SA508 Cl. 3 鋼(JIS SFVV 3 相当)である。 これらの化学組成お上び機械的性質をTable 1 に	Table 2 List of tests performed Steel Mark Posi- 5 Loca- Low cycle crack propagation Steel Mark tion Loca- fatigue propagation Steel Mark tion Loca- fa	
	,		
	ė		
,			
	4		
_			



波 形:三角波

試 験 機:電気油圧式疲労試験機

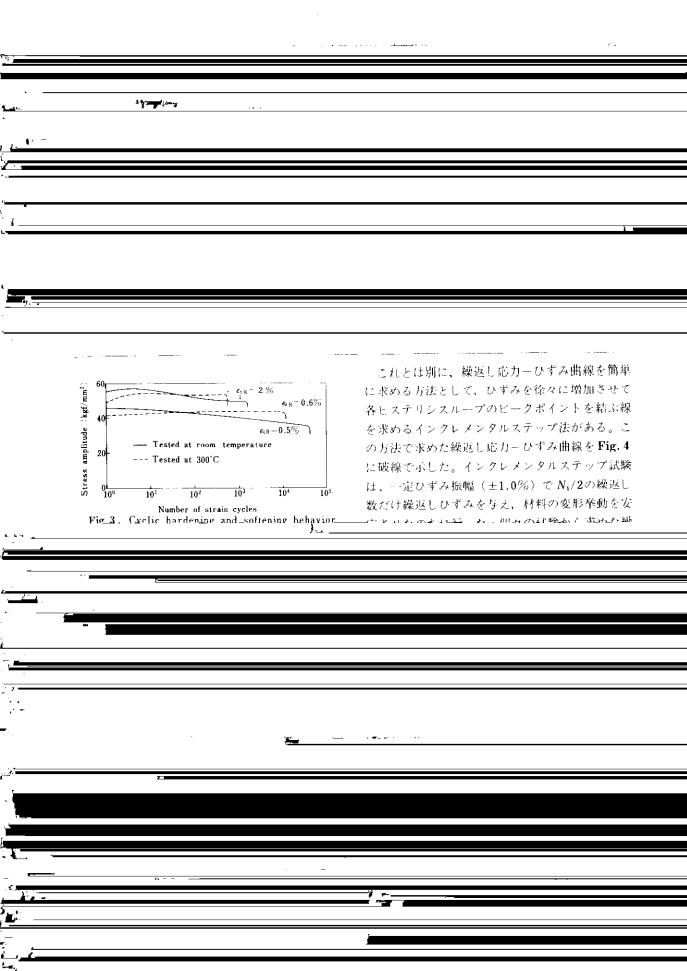
t:試験片板厚(-25mm)

WOL型試験片による疲労き裂伝播速度、da/dN

なお、径ひずみから軸ひずみへの換算は次式に よった。

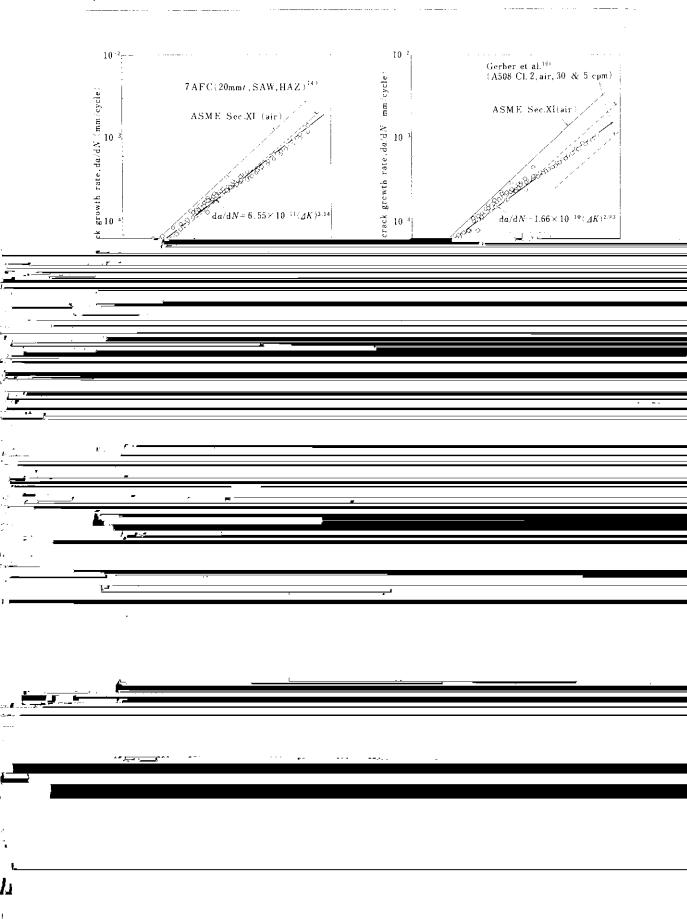
$$\epsilon_{eR} = W_R / SE$$
(1)

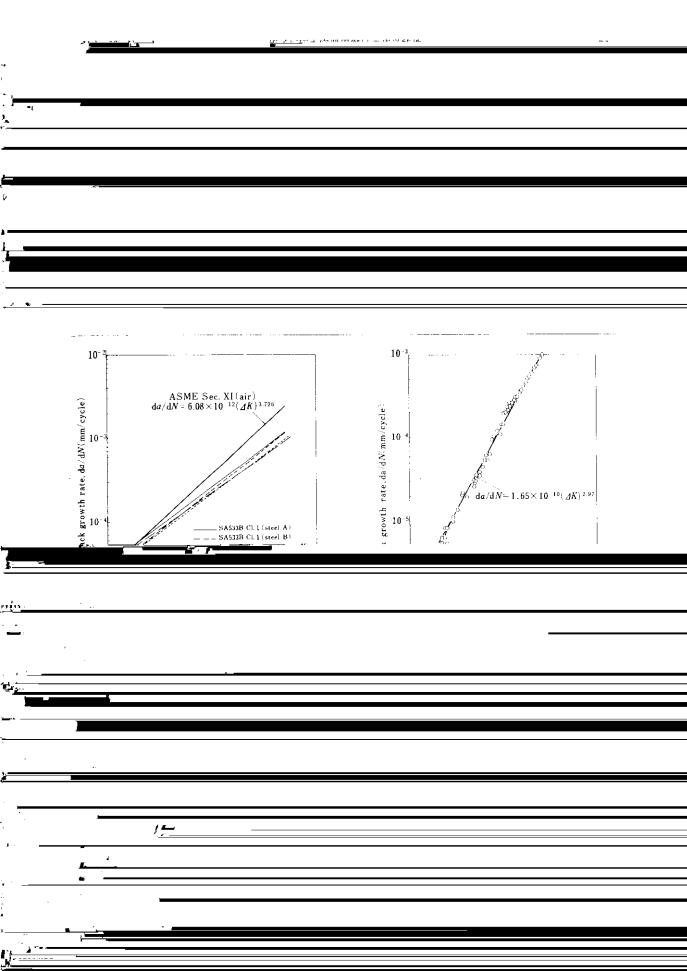
験片の幅中央に貫通切欠を有する試験片によるda/dNを測定するとともに、同じく表面切欠を有する試験片での片振引張および片振曲げ荷重下での確母き型を爆発動についてよ概なした。用いたは









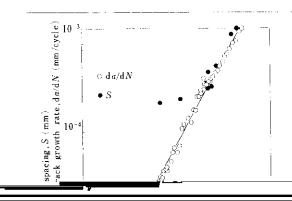


_	and the second of the second o	(a. v.) (b.) (c.) (t. Haylle) Particle of act of the action of the
** * ·		
	·	
· · ·	,	
		
	-	
<i>V</i>		
	,	
.t sty		
		
1		
•	ž 1	
į –		
i		
	h middelt h	HUISTE SERVICIBLE SERVICE TO SERVE TO AS A TO
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	期には、き裂形状は半円に近づいて b / a が 0.75
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	期には、き製形状は半円に近づいて b / a が 0.75
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	期には、き裂形状は半円に近づいて b / a が 0.75
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	期には、き裂形状は半円に近づいて b / a が 0.75
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	期には、き裂形状は半円に近づいて b / a が 0.75
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
£	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
- 103	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
- 103	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
- 103	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
- 103	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya
	の初期値としては1本目のビーチマーク測定値を	Partie de la companya

ついては次の(10)、(11)式、伝播速度について

- が0.5では,b/aは0.4程度になる。ここでは割愛し

 ΔK が50kg $f/mm^{3/2}$ を載す領域では主としてストラ



り小さくなるような条件の時に観察され、繰返し 塑性域と旧オーステナイト粒径が寸法的に一致す るようなAKにおいて粒界破面が消失するといわ れている¹⁸⁾。本供試鋼のオーステナイト粒度番号 はASTM G.S.No. 8 であり、粒径 d ≒22 μ であ る。一方,繰返し塑性域寸法,Ryc,は次式で表 される。

$$\underline{R}_{yc} = \frac{2}{5 - 6} = \left(\frac{\Delta}{2 - 6} \frac{K}{2}\right)^2 \qquad \qquad \cdots \cdots (13)$$

Range of stress intensity factor, ΔK (kgf/mm^{3/2}) Fig. 20 Comparison of striation spacing with

macroscopic fatigue crack growth rate in relation with ΔK (steel A)

見られるように、粒界破面がかなりの割合を占め ている。写真上で測定した粒界破面の面積率を ΔK に対して示すと、Fig. 21 のように ΔK が20kgf $/mm^{3/2}$ から40kgf/ $mm^{3/2}$ の範囲で粒界破面がみられ、 Δ K = 35kgf/mm^{3/2} で約40%のピーク値を示すこと が分かる。△ K > 40kgf/mm³/2では粒界破面は全く

 $\sigma_{ys}=40 ext{kgf/mm}^2 (ext{Fig. 4}$ 参照) として R_{ye} の目 盛を Fig. 21 に併記したが、粒界破面率が 0 となる $\Delta K = 40 \text{kgf/mm}^{3/2} は R_{\text{v.c}} = 28 \mu に対応しており、$ 前述のオーステナイト粒径22μとほぼ一致するこ とが認められる。

4. 総 括

原子炉圧力容器用鋼 SA533B Cl.1 鋼およびSA 508 Cl. 3 鋼の室温および原子炉稼動温度での低

- 3) 和中、朝生、宮田、加藤、斉藤、堀内、松居、佐藤、田中 : 川崎製鉄技報、12 (1980) 1,52
- 4) E. T. Wessel; Eng. Fracture Mech., 1 (1968) 1, 77
- $C_{\frac{1}{2}}^{*} = C(2T)^{\frac{1}{2}} \frac{1}{2} \frac{$

6) ASME Boiler and Pressure Vessel Code Sec. VIII Div. 2 Appendix 5, (1977)

- 8) 成本, 松本、小林、田中:日本溶接学会 FS 委員会資料 FS-514-79, (1979)
- 9) 成本:未発表
- 10) ASME Boiler and Pressure Vessel Code Case N-47, (1977)